

<p>△元旦祈り会 1 講 三つの庭—光の神殿回復—私のやぐら</p>	<p>△元旦祈り会 2 講 光の経済回復—御座の旅路 300%</p>	<p>△元旦祈り会 3 講 まことの復興—光の道しるべ</p>
<p>□序論</p> <p>1. 暗闇の勢力に陥った。 1) 強大国 2) 政治家 3) 多くの世論 4) サタンの働き</p> <p>2. 光の勢力が現れた。この光は何か 1) 創 1:3 創造の光 2) イザ 60:1-2 解放させる主の光 3) 詩 119:105 神様のみことばは私たちの足のともしび 4) ヨハ 1:11 光として来られたイエス様 5) マタ 5:14 あなたがたは世の光</p> <p><u>三つの庭</u> 「光の神殿回復—私のやぐら」 三つの庭がある神殿を回復しよう。これをするために、私のやぐらを変えるのだ。 <u>残りの者、残る者、残れる者、残す者</u>の祈りによって、この力を得なければならぬ。 <u>24、25、永遠</u> これを置いて無条件に 24 しなさい。すると必ず 25 が見える。これが祈りであるために、皆さんに永遠の作品が出てくるようになっている。 <u>ヨハ 1:14 みことば成就</u> 三つの庭を成し遂げるすばらしいみことば成就が起きる。これが鍵だ。</p> <p>3. 三つの庭 1) 多民族が生かされる。2) RT 学校を建てて次世代を育てた。 3) 病院を建てて癒やした。</p> <p>□本論</p> <p>1. みことばのやぐらが私の中に先に臨んだ。 1) 三位一体の神様が御座の力で 7 やぐらで働くと約束された。 2) この力で御座の旅路を行きなさいと言われた。 3) 所々に御座の道しるべが建つように作りなさい。5 千種族の隠れた人材が集まるだろう。</p> <p>2. 教会の中に 1) 出 2:1-10 モーセの母親がみことばに従ってやぐらを建てた。世界ひっくり返す始まりだ。 2) Ⅱ列 6:8-24 ドタンの町を通して、すべてのレムナントが起き始めた。 △24、25、永遠の中にいれば、すべて回復する。目に見えないやぐらが建ち始めて、教会の中にレムナントが起き始める。多民族が起き始める。 3) ダニ 1:8-9 行く所ごとにバビロンのレムナントのように癒やす働きが起る。</p> <p>3. 現場に 1) 使 13、16、19 一番最初に異邦人のやぐらを作ったパウロ 2) 使 13、16、19 癒やしはやぐら。だれも治せない病気を癒やした 3) 使 17、18、19(ローマ)会堂の目標がローマだ。</p> <p>△祈るとき 7 やぐら、御座の旅路、御座の道しるべだけ続けるのだ</p> <p>□結論</p> <p>1. 強大国 血のいけにえがエジプトをひっくり返したのだ。処女が身ごもって男の子を産む、その名がインマヌエル。その契約を握った人を通して働きが起った。 2. ユダヤ人のやぐらがめっちゃくちゃになった 3. ローマ 皆さんの小さな働きと祈りは光なので世界を生かすことができる。この祈りを回復しなさい。</p>	<p>光の経済を回復するために御座の旅路 300%を見つけるのだ。光の経済は教会を生かして宣教して次世代生かすことができる経済だ。巡礼者の祈りはあらゆる事を受容して祈りで超越して答えを見つけることだ。</p> <p>□序論</p> <p>1. 多くの碩学が地球終末を話した。 2. 聖書の預言(マタ 24、25)終わりのとき、とても大変な時刻表 3. 終わりの時代(Ⅱテモ 3:1-13)自分、肉、間違ったことを愛するので苦しみ 4. 黙 12:1-10 終わりの時代に大きな混乱預言 5. マタ 24:1-14 全ての民族に福音が宣べ伝えられた後に終わりが来る</p> <p>□本論</p> <p>1. 残りの者 1) 24 が神様がくださったやぐら 2) 25 は旅路を行かなければならないということ 3) 永遠という道しるべを建てるべき △力が生まれて残る者、暗闇を征服するので残れる者、多くの人を残す、残す者になるのだ。</p> <p>2. 集中 1) イエス様が 3 年、みな捨てろと言われた。助け主聖霊を送ると約束された。 2) その約束をして 40 日集中した。毎日、今日のミッションと神様みことばを見つけるのだ。 3) 10 日間マルコの屋上の部屋で集中した。すべての部分での恵みを受ける準備だ。 4) 礼拝で答えを見つけるのだ。5) 神様のみことばが毎日現場に現れる 6) 挑戦しなければならぬことが見える。それが定期祈りだ。 7) 集中するのに 24、25、永遠を参考にしなければならない。 8) 使 13:1-4 行った場所、行かなければならない場所で確信ある答えを見つけなさい。 9) 使 16:6-10 道が閉ざされたとき、深い祈りの中に入って聖霊の導きを受けた。 10) 使 19:1-7 ティラノに行く前、ローマに行く前に確実な答えを見つける。マルコの屋上の部屋に臨んだ働き、そのまま毎日目に見えない力を体験しなければならぬ。</p> <p>3. 残りの生涯をどのようにすべきか(中心) 1) 幕屋中心 モーセ時代。三つの祭りと安息日中心だ。 2) 神殿中心 ダビデが一生祈ったのだ。 3) 教会中心 ローマ 16 章の人々</p> <p>□結論</p> <p><u>ロックフェラー、3 団体、ムスリム</u>ロックフェラーが完全教会中心だった。3 団体が祈る礼拝堂に毎日集まり、ムスリムもしている。私たちはこれよりはるかに良くできる奥義を持っている。 1. 病気(Ⅱコリ 12:1-10)パウロは病気になったとき集中した。これが集中する巡礼者の祈りだ。 2. 失敗(使 16:6-10)深い祈りの中に入って時代を変える事が起きた。 3. 危機(使 27:24)パウロは暴風の中で主の御使いの声を聞くほど祈った。</p>	<p><u>まことの復興</u>が起きなければならない。このときから<u>光の道しるべ</u>を建てるのだ。この祈りが<u>創造的祈り</u>であり、<u>再創造</u>の祈りが始まるのだ。</p> <p>□序論</p> <p>1. すべての人、こと、状況(RT7)受容 2. J. X が使われた二つの方法—弟子と群衆 3. パウロの告白 ピリ 1:12-14 監獄—神様の最も大きな計画成就 ピリ 2:6-11 X も苦難を受けられた。 ピリ 3:8-21 天にある自分の背景を告白 ピリ 4:4-13 強くしてくださる方によって、自分の現住所</p> <p>□本論 <u>今</u> 起きていることを知るべき</p> <p>1. 御座の働き—祈る時間にだまされなければ良い。 1) 霊的なことが先に起きてこそ答えが始まる 2) 御座の力を信じて祈り—神様の計画成就 3) ノーバディー(nobody)、ナッシング(nothing)に行くので御座の背景によってすべき</p> <p>2. あらかじめ持つこと 御座は背景。答えは神の国が臨むこと 1) 神の国をあらかじめ味わう(7 やぐら) 2) あらかじめ答え(7 旅路) 3) あらかじめ力を受けること(7 道しるべ)</p> <p>3. 神の国のことが成り立つ—光の道しるべ 1) 使 9:1-10、15 キリストで終わった。王の前に御名を運び選ぶの器 使 11:25-26 バルナバに会った。使 18:1-4 プリスカ夫婦に会った。 (1)カルバリの丘の道しるべ (2)オリブ山の道しるべ (3)マルコの屋上の部屋の道しるべ (4)アンティオキアの道しるべ(使 19:8) 神の国を大胆に証し 2) 使 13:1-12 聖霊が人、場所、ことを導き、 使 14:14-26 時代的道しるべ、テモテ 使 15:36-41 バルナバとパウロが争った理由—絶対道しるべを建てなければならぬので 使 16:6-40 門が閉ざされたとき祈り—マケドニアに導き。(リディア、悪霊につかれた者、監獄で働き) 使 17:1-9 会堂で X 証し。テサロニケに X のやぐら、 使 18:1-4 プリスカ 使 19:1-21 マルコの屋上の部屋の働きそのとおりにティラノで 3) 使 19:21 ローマも見ろべき、使 23:11 ローマで証しすべき、使 27:24 カエサルの前に ロマ 16:17-20 サタンがひざまづく働き、ロマ 16:25-27 隠しておいたこと</p> <p>□結論</p> <p>1. 答えられる所 1) 申 6:4-9 レムナントに刻印 2) I サム 7:1-15 すべての民はミツパに 3) I 歴 29:10-14 一生祈って神殿準備 4) Ⅱ列 6:8-24 ドタンの町 5) イザ 62:6-12 見張り人</p> <p>2. 最高のこと— 3 つの庭があって、金土日時代と黙想時代を開く教会</p> <p>3. 願われること—<u>義人</u> 福音を伝える弟子がいる所</p>